第１学年２組　英語科学習指導案

指導者　Ａコース（１年２組教室）　荒井　涼子（T1）
Ｂコース（図書室）　小島　春香（T2）
ＡＬＴ　Nicholas Elkington（T3）

１　テーマ　基礎，基本の定着を図り，確かな学力を身に付けさせる指導の在り方

２　単元名　Word Box 1 数字（New Horizon English Course 1）

３　目標
（１）数字を用いて意欲的にコミュニケーション活動に参加しようとする。
（コミュニケーションへの関心・意欲・態度）
（２）数字を正しく用いて，自分のことについて話すことができる。（表現の能力）
（３）数字を用いた文を正しく聞き取り，その内容を理解することができる。（理解の能力）
（４）年齢や電話番号，また足し算・引き算の表現を理解することができる。
（言語や文化についての知識･理解）

４　指導にあたって
（１）教材観
本単元では，１００までの数字を導入する。数字は，日々の授業の中で反復して定着させていくことが必要であり，年度初めのこの時期に導入されている。
また，数字の練習として，年齢，電話番号，足し算・引き算が取り上げられているが，これらはbe 動詞の復習に好適である。特に，足し算･引き算の言い方を通して，be 動詞の機能が数学の「＝」のイメージであることの理解を導くこともでき，be 動詞の復習にも好題材といえる。
（２）生徒の実態
生徒の実態調査　（平成２０年５月２３日実施　第１学年２組　２８名）

質問	はい	いいえ
数字を英語で聞いたことがありますか？	２８人	０人
１～１０までを英語でいえますか？	１９人	９人
１１～２０までを英語でいえますか？	９人	１９人

本学級の生徒は明るく，コミュニケーション活動に積極的に取り組んでいる。特に話す活動には意欲的である。本単元の数字に関しては，現時点で多くの生徒に予備知識があり，関心も高い。
（３）指導観
本時の指導にあたって，これらの実態を踏まえ，生徒の興味や関心をひきつけられるよう，聞いたり話したりする活動を通して数字の導入と定着を図る。また，生徒の英語学習に対する目的意識や希望をもとに，書く活動を多く取り入れる A コースと話す活動を多く取り入れる B コースに分けた少人数授業を通して，表現力の伸長を促す。
（４）テーマとの関連
少人数授業での生徒一人一人の関心や能力に合わせた支援を通して，基礎・基本を身につけさせたい。また，生徒同士が自ら表現を正したり新しい表現をみいだしたりして自主的に表現力を高めようとする助け合いを奨励することで，生徒一人一人の理解力や表現力を向上させたい。

５　学習計画（３時間取り扱い）

次	時	学習内容	観点別項目				評価規準
			関	表	理	知	
1	1	be 動詞について復習し，理解を確かめる。		○			be 動詞を使って，文を完成させることができる。
	2	単語・文の書き方を確認する。				○	大文字・小文字，文字のあき加減，文を書くときの決まりを理解することができる。
2	3 本時	１００までの数字を用いて，年齢や電話番号など述べる。		○			１００までの数字を理解し，それを用いて自分の年齢や電話番号などを言うことができる。

6　本時の学習

（1）目標

数字を正しく用いて身近なことを述べることができる。

（2）準備・資料

ワークシート，自己評価カード（Study Card），単語カード，ナンバーカード

（3）本時で押さえたい基礎・基本の事項

１００までの数字の言い方を理解し，それを用いて自分の年齢や電話番号，足し算・引き算を言うことができる。

（4）展開

<table>
<tr><th rowspan="2">学習内容及び活動</th><th colspan="3">指導と評価（Eは評価）</th></tr>
<tr><th>Ｔ１</th><th>Ｔ２</th><th>Ｔ３</th></tr>
<tr><td>1 Greeting</td><td colspan="3">・元気に明るくあいさつし，楽しい英語学習の雰囲気を作る。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2 Warm-up
・Super-input
Practice conversation</td><td colspan="3">・生徒同士の助け合いを促し，発言につまずきがある生徒の意欲を喚起する。</td></tr>
<tr><td>・テンポ良く活動の雰囲気を盛り上げる。</td><td colspan="2">・生徒のペアに入り，共に発音するなどして，つまずきのある生徒を支援する。</td></tr>
<tr><td>3 Introduction of new materials
数字を用いて身近なことを話そう。
(1)Reading
(2)Pair work
(3)Writing
4 Communicative activity
(1)Study in each course.</td><td colspan="3">・リーディングのパターンに変化をつけ，また数字を数えるジェスチャーを用いた反復音読練習を通して，数字の読み方の定着を図る。
・ペアワークを取り入れ，足し算・引き算，年齢や電話番号の言い方を確認しあうよう促し，表現を定着させる。
・ライティングには，時間制限を設けて集中力を高める。</td></tr>
<tr><td>A
・Number-karuta game
If one says a number, the other members should pick up the card with the number written on it.
・Writing Practice

B
・Telephone number bingo game
Let’s ask phone numbers to each other.</td><td>A
・グループで競い合うことで，ゲームに対する生徒の意欲を喚起する。
・カードの両面には数字と英語のスペルを添え，英語の表記にも慣れるように工夫する。</td><td>B
・事前に反復練習を十分に行い，テンポ良く進められるよう指導する。
・制限時間を設けて，ゲーム性を高め，生徒の参加意欲を高める。</td><td>・正確な発音を導くため，模範音読のピッチやリズムに配慮して発音する。
・生徒への声かけを通して，生徒の意欲を喚起する。</td></tr>
<tr><td>・Back to study in the whole classroom
(2)”Age-addition” game
Ask the age as many students as they can. And add all the number of ages that they get. Who gets the highest number will win this game.</td><td colspan="3">・ゲームにとまどいのある生徒に対して，共に発音することで参加を促すよう支援する。
・ゲーム結果を確認する際は，生徒の頑張りをねぎらいと共に賞賛し，コミュニケーションに対する生徒の自信を高める。
E 数字を正しく用いて年齢を述べることができたか？
（観察・ワークシート）</td></tr>
<tr><td>5 Consolidation
・Self-evaluation
・Information about next lesson
・Greeting</td><td colspan="3">・静かに本時の活動を振り返り，自己評価をする。
・次時の内容を提示し，次時への関心・意欲を高める。</td></tr>
</table>